



中央会副会長に聞いてみました。

貴組合のことについてお聞かせください。

私が理事長を務める松阪地区木材協同組合は、松阪市とその周辺地域で木材業、製材業を行う約130名の事業者によって構成され、市売事業を中心に行っています。

60年もの歴史があり、財務体質は健全で、無借金経営です。事務局は、松阪市木の郷町に建設された日本初の国産材コンビナート「ウッドピア松阪」の中の「木の情報館」内にあります。木の情報館は、すまい体験館とともにスマッキーの愛称で皆さまに親しまれています。

木の情報館では、ミニテーブル、イス、宝箱などを作る「親子木工教室」と、「松阪の森」や「森と環境」について学ぶ「あかね学級」を開催しており、いずれも人気のイベントです。

経営方針（もしくは、社訓等）をお聞かせください。

「人と木の調和」これに一番ウエイトをおいています。

高品質で安心安全な木製品、建築部材の提供を行い、林業、木材、製材業、建築工事に至るまで一貫した事業経営を行っています。

企業PR・仕事内容を教えてください。

推進しているのは、「三重の木」を使うことです。住宅だけでなく、商業施設や福祉施設などの非住宅にも力を入れており、鉄筋の建築物の場合でもフロア、壁、天材などの内装材に「三重の木」を使用しています。

また、現在は3階までしか建てることのできない木造建築物ですが、クロス・ラミネイティド・ティンバー（CLT）という厚さ15cmの大き

な木造パネルを用いて、近い将来4～6階建ての木造ビルを建てるという大きな夢を描いています。更に地震発生時の仮設住宅の建設など、木材業界として新しい事業にチャレンジしていこうと意気込んでいるところです。

経営トップとしていつも気にかけていることは何ですか？

私が父から特に教えられたことは、「信頼される人にならなくてはいけない」ということです。また、大阪の木材市売問屋で修業をしていた際にも当時の社長から教えられたのは、信用の大切さでした。信用、信頼されるということが大切であり、私の信条となっています。

中央会の役員としての思いをお聞かせください。

佐久間中央会会長がよくおっしゃる「自助努力」という言葉に共感しています。

協同組合は連携体であるので、支援の要望をしていくことが大切だと思っていますが、なんといっても本人のやる気が一番大切です。人に頼るだけではなく、それぞれの人がやる気をもって様々なことに挑戦してほしい。もちろん、私ども木材業界もやる気をもって進めていきます。



理事長企業納入資材による建築物



中央会副会長 **黄瀬 稔** き せ み の る 松阪地区木材協同組合 理事長

企業名 ■ 株式会社オオコーチ
役職名 ■ 代表取締役社長
企業住所 ■ 松阪市大黒田町 472
電話番号 ■ 0598-26-1551
設立 ■ 昭和 25 年 1 月
従業員数 ■ 51 人

～ありがとうございました～